



ひかりあめの フラワーレメディ講座

■本格的な自然療法を「自宅」で学ぶ

フラワーレメディ(フラワーエッセンス・セラピー、花療法とも呼ばれます)は、第一次世界大戦後の動乱の中、1936年までの8年間を費やし、英国人医師であり、細菌学者、ホメオパスでもあったエドワード・バッチによって開発された、最高クラスの安全性を誇る自然療法です。誕生後80年以上を経過した現在では、セルフケアツールとして、世界中で親しまれています。調和療法のひかりあめのご提供する本講座は、特別に編纂されたオリジナル・テキストを利用し、その全てのスキルを、ご自宅で学んで頂ける充実のカリキュラムです。

自分スタイルで学べる通信制

ひかりあめのフラワーレメディ講座は、日々の空き時間をご利用頂き、ご自身のペースで学べる通信制ですので、気負わずに取り組みます。受講期間は、各課程とも3カ月間設定され、余裕をもって学ぶことができます。講座に関するメールによる質疑は、受講期間中は24時間、年中無休にて承ります。

月3回の開講

ひかりあめのフラワーレメディ講座への受講お申込みは随時承りますが、受講登録は毎月1日、11日、21日の3回行なわれ、受講料のご入金確認後10日を目途に、テキスト一式をご自宅までお届けします。テキストにバインダーは

付属されませんので、最寄りの文具店等でお買い求め下さい。副教材「植物のかたちとはたらき」のご購入(3000円+税+送料)については、「フラワーレメディ・プログラム・ジャパン」にて、別途お手続きが必要となります。

■フラワーレメディの「3つのスキル」

フラワーレメディを支えるスキルは3つあり、ひかりあめのフラワーレメディ講座では、それらをバランス良く学ぶことができます。

①説明のスキル

開発者エドワード・バッチの哲学や、本療法誕生の背景を踏まえ、その作用の仕組みを利用者に応じて柔軟に説明する技術です。フラワーレメディに対する、利用者の不安を取り除くことを、主な目的としています。

②処方スキル

38種のフラワーレメディを、利用者に応じて処方し、摂取しやすい形態に調整して提供し、活用を促す技術です。レメディの組み合わせや、身体反射区に対する扱い方も含まれます。

③製薬のスキル

地の植物による、レメディ製薬のための技術です。太陽と水と花のハーモニーであるフラワーレメディを、未来に遺すための鍵となるスキルです。

■本講座の特徴

世界中で受講可能なフラワーレメディ講座(以下、他講座)の多くは、これら3つのスキルの中の「処方のスキル」に特化し、それを入門編、応用編、実践編など数段階で構成したカリキュラムが主流となっています。例えば、ひかりあめのフラワーレメディ講座のホームセラピー課程では、3ヶ月間をかけて、家庭で活かすための「処方のスキル」と「説明のスキル」の全てを学ぶのに対し、他講座の入門編では「処方のスキル」の一部を、僅か2日間で学ぶものも少なくありません。つまり、フラワーレメディを「どうやって使うか」に焦点を絞っ

ており、その治癒の仕組みには触れていないのです。しかし、本療法の臨床の場において、「処方スキル」だけでは充分ではありません。誰もがそれを安心して受け容れるためには、フラワーレメディに対する利用者の不安や疑問を、セラピストは取り払わねばならないからです。そのために必要となる「説明のスキル」は、療法の安全性以上に不可欠と言えます。特に治療の核となる、現代科学では説明できない「微細エネルギー治療のメカニズム」を、利用者が負担無く理解できることは大変重要であり、不十分な「説明のスキル」では、利用者の治癒に向けた自助を妨げてしまいかねません。

またエドワード・バッチは、1936年9月の彼の単独講演において、「これらのレメディは、望めば誰もが作るができる」と明言しているのですが、他講座において「製薬のスキル」は、殆ど学びません。それらの多くは、レメディ供給元と関わるためです。しかし、自然環境が地球規模で変わろうとしている昨今、彼の選んだ植物が絶えてしまっても、このスキルを習得していれば、地の植物を用いて、彼と同じ品質のレメディを未来に遺すことができます。さらには今の時代に、そしてその地に相応しい、新しいレメディさえも作り出すこともでき、ポテンシ（エネルギー強度）を理解することで、既存のレメディと組み合わせることも可能となり、それは治療の可能性を高めることに繋がります。ひかりあめのフラワーレメディ講座では、副教材「植物のかたちとはたらき」と専用ワークブックを使用し、この「製薬のスキル」を存分に学んで頂けます。

■3課程の目指すゴールと受講料

ひかりあめのフラワーレメディ講座の全てのカリキュラムは、ホームセラピー課程、レメディ製薬課程、プロセラピスト課程の3つで構成されています。いずれの課程も、具体的で実用的なゴールを掲げているので、学ぶ喜びや、知識を活かせる充実感を、日々体感して頂けます。

ホームセラピー課程 39000円+税

ひかりあめのフラワーレメディ講座において、最初に受講して頂く課程ですが、単なる本療法の初級講座ではありません。製薬までを可能とする、フラワーレメディの全スキルの土台となる部分の学びを通して、ご家族や身近な方に対する臨床を重ねるための、充分な知識をご提供します。本課程修了後、レメディをご自身で作ってみたい方はレメディ製薬課程へ、プロとして開業を目指す方はプロセラピスト課程へと、学びを進めて頂きます。ホームセラピー課程のテキストは3冊で構成され、添削回数は2回、受講期間は3ヶ月間です。

レメディ製薬課程 13000円+税

ホームセラピー課程、もしくはプロセラピスト課程を修了された方を対象とした、「製薬のスキル」を学ぶカリキュラムです。副教材「植物のかたちとはたらき」を、別途ご用意頂きます。レメディ製薬課程には、専用ワークブックが付属します。添削は無く、受講期間は3ヶ月間です。

プロセラピスト課程 39000円+税

ホームセラピー課程、もしくはレメディ製薬課程を修了された方を対象とした、フラワーレメディの臨床の輪を、社会へと広げるために必要な知識を、総合的に学んで頂くカリキュラムです。薬事法や酒税法に則った、合法的な活動の前提となる部分を学べますので、いかなる製薬会社や団体にも属さない、フェアなプロセラピストとしての自由な活動が可能となります。特に、類似療法であるホメオパシとの違いを習得できる「説明のスキル」は、ひかりあめのフラワーレメディ講座独自の内容です。テキストと専用ワークブック各1冊で構成されます。添削は無く、受講期間は3ヶ月間です。

調和療法のひかりあめ
沖縄県北中城村喜舎場241
電話 098-935-0106
メールアドレス i@hikariame.jp